



広げよう「地域スポーツ」の輪

地域において子どもから高齢者まで、さまざまなスポーツを愛する人たちが参加できる総合型地域スポーツクラブ。県内に現在三十カ所あります。そこで繰り広げられるスポーツの楽しさや可能性についての育成推進フォーラムが、この十一月二十二日に朱鷺メッセにて開催されました。

三屋裕子さんを迎えてパネルディスカッション

新潟

のためにはマネジメントの視点が不可欠です。例えば、ビジョンや夢が必要です。また、人材はボランティアや有給スタッフ、施設は場の確保ではなく、場の共有にし、財源は自主財源率を高めることが重要です。情報はお金のかからない広報術による根を越えた横のネットワークなども必要です。

松澤 本田さんにお聞かせしていきますが、指導者の確保や育成はどうされているのですか。

松澤 本多 健行氏

（NPO法人クラブ・スポーツバイキングぶんすい事務局長）

西原 康行氏

（新潟医療福祉大准教授）

三屋 裕子氏

（新潟県立大学スポーツビジネス研究所客員研究員）

△コーディネーター

松澤 淳子氏

（早稲田大学スポーツビジネス）

△パネリスト

三屋 裕子氏

（スポーツプロデューサー）

本多 政則氏

（NPO法人クラブ・スポーツバイキングぶんすい事務局長）

西原 康行氏

（新潟医療福祉大准教授）

三屋 裕子氏

（新潟県立大学スポーツビジネス研究所客員研究員）

△パネリスト

西原 康行氏